

2025年11月吉日
生活協同組合コープさっぽろ
広報部

日本食糧新聞社制定農林水産省後援 大見英明が第58回食品産業功労賞 流通・情報部門で受賞

生活協同組合コープさっぽろ（以下、コープさっぽろ）では、理事長・大見英明が2025年度「食品産業功労賞」（主催：日本食糧新聞社）において、流通・情報部門で受賞しました。11月4日（火）に贈呈式が行われました。

本賞は、食品産業の発展に寄与した個人・団体を顕彰するもので、1967年に日本食糧新聞の創刊25周年を記念して創設され、業界の権威者による厳正な選考のもと毎年授与されています。大見の受賞は、長年にわたり生活協同組合の枠を超えて地域社会全体の発展に尽力し、持続可能な流通体制の確立、地域経済の活性化、ならびに消費者と生産者をつなぐ仕組みづくりに取り組んできた実績が高く評価されたものです。

コープさっぽろでは「北海道で生きることを誇りと喜びにする」を理念としておりますが、今後も組合員さんのために食と生活を守り、より持続性のある社会を続けていくために、北海道全域でさまざまな事業を行っています。

【大見英明 授賞コメント】

日本食糧新聞社様より「食品産業功労賞」という栄えある賞を賜り、心より御礼申し上げます。

コープさっぽろは1998年の実質的な経営破綻から再生し、創立60周年を迎えることができました。このたびの受賞は、私個人へのものではなく、長年にわたり、地域の暮らしを支え、協同の力を信じて行動してきた多くの組合員、職員、そして生産者やお取引先の皆様と共に、いただいたものと受け止めております。

コープさっぽろは、「つなぐ」をテーマに、「人と人をつなぐ」、「人と食をつなぐ」そして「人と未来をつなぐ」の3つをこの10年間、ミッションとしてかけ、歩んでまいりました。そして未来は、決して明るいものではありません。地域での人口減少や過疎化がさらに進展することから、北海道が問題の先進地となることを見通し、北海道での「暮らしの問題解決」をテーマに取り組んできました。

スーパーマーケットの事業と宅配トドックの無店舗事業、この2つを柱にしながら、食を中心に、買い物難民対策としての移動販売事業、高齢者に食事を提供する夕食宅配事業、そして自治体からの要請を受け学校給食事業の分野へと広がりをもつことができました。さらには、北海道での未病管理として健康診断事業もスタートさせています。地域が縮小する中で、生活をめぐる様々な問題を、私たちは事業として解決すべく、今後ともすすんでまいりたいと思います。

協同組合は、単なる経済組織ではなく、人と人々が支え合い、地域の未来を自らの手で形づくるための「民主的な学びの共同体」でもあります。利益は社会に還元し、組合員さんと喜びと責任を分かち合う、そこに私たちの原点があります。

この賞を励みとして、これからも「一人ひとりが主役の協同社会」の実現に向けて、挑戦を続けてまいります。

地域の人々が安心して食べ、語り合い、支え合う、その風景こそが、私たちの願う豊かさのかたちでもあります。

改めて、今回の栄誉に深く感謝申し上げ、皆さまと共に未来をひらく決意を新たにいたしました。

【大見英明 プロフィール】

1958年生まれ、愛知県出身。

1998年の経営破綻からコープさっぽろを建て直し、今日の事業成長へと導いた。日本生協連主導による経営再建後、07年理事長に就任し自主再建へと舵を切る。宅配拡充と「おいしいお店」によるSM強化で成長軌道に乗せた。課題解決型組織への転換を加速、買い物困難者対応や学校給食の民間受託など事業創出で道民生活を支える。



【報道関係のお問合せ先】

生活協同組合コープさっぽろ 広報部 広報メディアグループ 森ゆかり ・ 前田楓華
〒063-8501 札幌市西区発寒11条5丁目10-1 TEL 050-1741-5516（平日9時～18時）